

平成13年度北西太平洋サンマ長期漁海況予報会議 東北海区海況予報

平成13年8月6-7日

独立行政法人水産総合研究センター 東北区水産研究所

<<今後の見通し(2001年9~11月)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並から北偏(37°N~38°N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北への張り出しは、沖合を中心に平年より北寄りに推移する。
近海では、40°Nを越える。
沖合では、148°E~150°Eで40°30'Nを越える。
- (3)釧路南東沖の暖水塊は、北東へ移動する。鮫角沖の暖水塊は北東へ移動する。
金華山沖合の暖水塊は、西へ移動する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、平年並~やや強勢(39°30'N以北)で推移する。
親潮第2分枝の張り出しは、平年並(39°N付近まで)で推移する。
三陸南部から常磐北部近海では、一時的に冷水域の影響を受ける。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(143°E付近)である。

(海況の経過(2001年1月~2001年7月)の特徴)

- ・ 表面水温は、三陸北部から北海道沿岸域で平年より低く推移した。三陸南部以南は、親潮系冷水の影響を受け平年より低めであった沿岸部を除けば、平年並~高めで推移した。
- ・ 近海黒潮の北限位置は、3月を除き、北偏傾向で推移した。
- ・ 2000年9月以降南偏していた親潮第1分枝は、3~6月の間平年並に戻り、7月に再び南偏した。なお、親潮第1分枝は、3~5月にかけて北退傾向、5~7月に南下傾向を示した。

(現況(2001年7月下旬~8月上旬)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、北偏(38°10'N)。
- (2)黒潮系暖水の北への張り出しは、近海・沖合とも平年並。
- (3)暖水塊が、釧路の南東約300km沖(42°N,148°E)、鮫角の東約250km沖(40°30'N,144°30'E)、および金華山の東約500km沖(38°N,148°E)にある(*)。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、平年並(40°20'N)。
親潮第2分枝の張り出しは、平年並(39°20'N)。
親潮第1分枝に連なる冷水が、38°30'Nまで達している。
親潮第2分枝に連なる冷水が、38°30'Nまで達している。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、やや強勢(143°10'E)。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

(*)は人工衛星情報による。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以东を表す。